

の周知徹底等安全管理体制を確立する必要があります。

復旧作業に係る工事人に対する教育を徹底する。

危険箇所がある場合は、立入り禁止区域を指定し、教職員等に周知し、作業にとりかかる。

復旧活動と事業活動が混在する場合は、相互の連絡を徹底する。

復旧工事に伴い、通常と異なる利用形態となることから避難経路を明確にする。

## 10 . 周辺地域における防災について

東京都は、東京都震災対策条例に基づいて避難場所を指定しています。また、大規模な延焼火災のおそれがなく、広域的な避難を要しない地区については、同条例に基づき地区内残留地区に指定しています。

東京海洋大学の場合、品川キャンパスは地区内残留地区に、越中島キャンパスは避難場所にそれぞれ指定されています。

また、越中島キャンパスでは江東区災害対策の一環として、災害発生時における避難所として体育館、八十五周年記念館を提供することに承諾しています。避難所の管理運営は江東区が行いますが、本学には協力する義務が有ります。

### 地域住民に対する協力

地震が起きると、同時に多数の火災が発生したり、道路の通行障害が起きるなど、次のような消火活動にとって支障となる事態が発生して活動の困難性が高まり、消防隊が全力をあげて消防活動に従事したとしても十分に活動できないことが予想されます。

火災及び死傷事故の多発

電話等通信施設のまひによる火災等の発見、通報の遅れ

家屋、塀などの倒壊、交通信号のまひによる道路の交通障害

道路の亀裂による消火栓等の消防水利の使用障害

災害の同時多発による消防部隊の活動上の制約

このようなことから、自分の職場はもちろんのこと、その職場内での対応が終わり、余力があるときには、地域住民と協力して積極的に火災の拡大防止、けが人の救護などの応急手当を行うことが是非とも必要になります。

本学における地域との協力体制は、地域社会の安全のため重要な役割を担っているといえるので、最大の努力を払うことが大切となります。

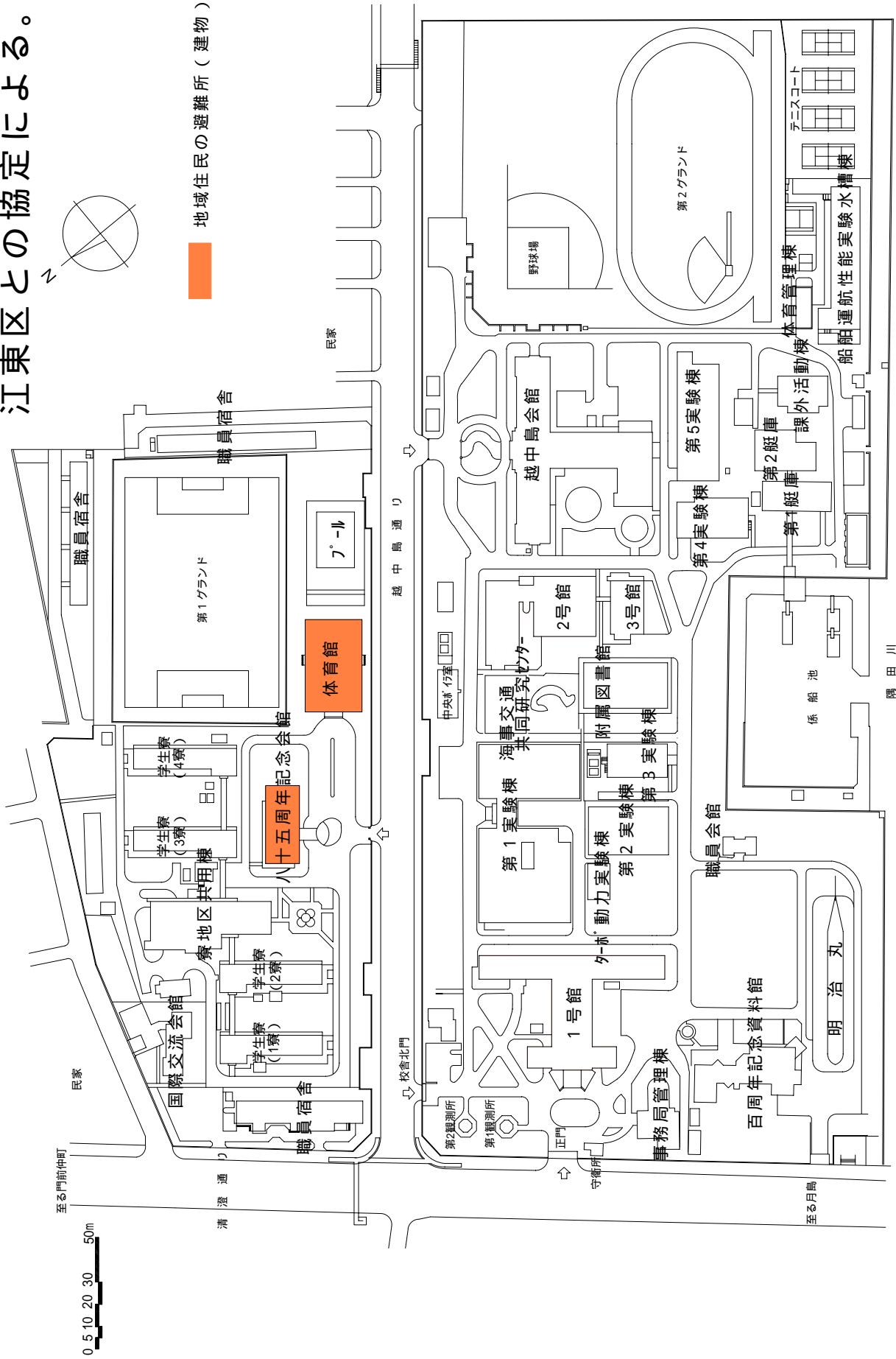
# 災害時緊急避難場所





# 災害時避難所（建物）

江東区との協定による。



地域住民の避難所（建物）

海洋工学部	建物名称	越中島キャンパス配置図
-------	------	-------------

## 非常用物品

種 別	一般的に必要なもの	現在あるもの	今後整備する必要があるもの
応急手当て用品	医薬品：殺菌消毒剤、火傷薬、整腸剤、止血剤、絆創膏等 救急用品：止血帯、包帯、ガーゼ、三角巾、脱脂綿、ナイフ、ハサミ、ピンセット、体温計、副木、毛布等	医薬品一式 救急用品一式	
救急作業用資材・器材	のこぎり、バール、スコップ、つるはし、はしご、ロープ、鉄パイプ、エンジン式チェーンソー、担架、毛布等	のこぎり、バール、スコップ、つるはし、ロープ、はしご、ロープ、鉄パイプ、エンジン式チェーンソー、担架、毛布等	
非常用物品	懐中電灯、ローソク、マッチ、ライター、携帯用拡声器、メガホン、携帯ラジオ、予備電池、非常用照明器具、ビニール袋等 衣類等（ヘルメット、防災ずきん、軍手、替え下着、タオル、毛布、防寒衣、運動靴）	懐中電灯、携帯用拡声器 5 台、メガホン、携帯ラジオ、予備電源、ビニール袋 衣類等（ヘルメット、軍手、タオル、毛布、防寒衣）	
生活必需品	食料（缶詰、乾パン、インスタントラーメン等） - 3 日分/1 人 × 従業員数 飲料水 3 日分（1 日 3 升/1 人 × 従業員数） 携帯燃料、カセットコンロ、カセットボンベ 簡易トイレ 寝具等（毛布、寝袋等）	食料（アルファ米、乾パン） 飲料水（ペットボトル） 携帯燃料（カセットコンロ、カセットボンベ） 簡易トイレ 寝具等（毛布）	
その他	防水シート、組立式テント、等	組立式テント、シート	